

取扱説明書

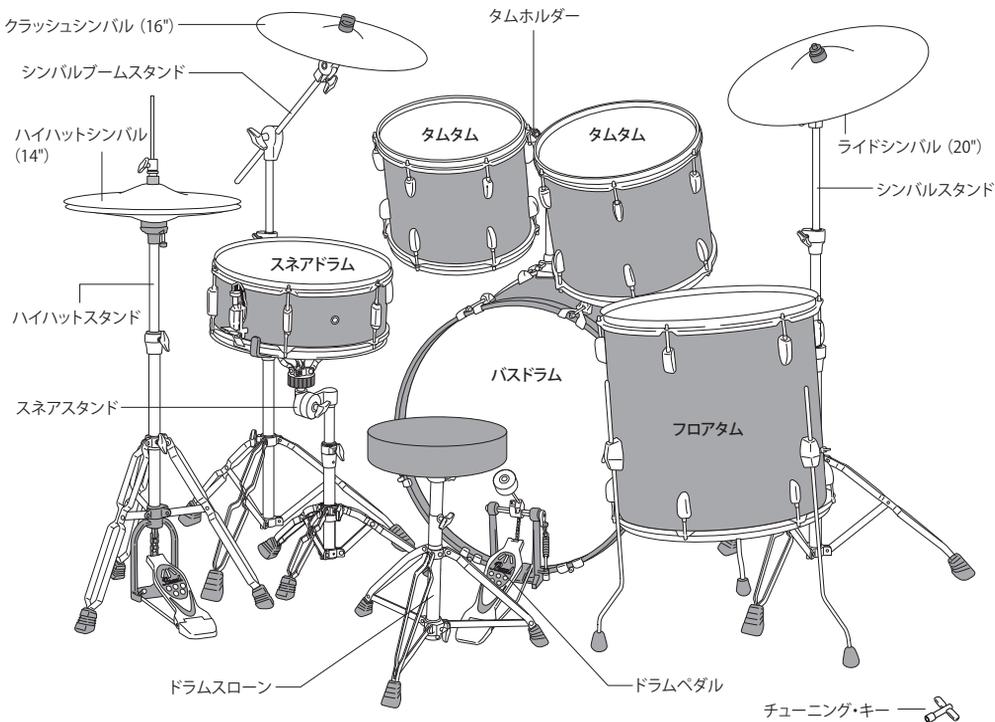
このたびは、パール・ドラムセットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
安全にお使いいただき、製品の機能を十分に発揮していただくために、この取扱い説明書を必ずごらん下さい。

■パッキングリスト このパッケージには以下のものがふくまれます。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| ●バスドラム・シェル(胴)..... x1 | ●スネアスタンド..... x1 |
| ●バスドラムヘッド(フロント/打面)..... x1pr | ●シンバルブームスタンド..... x1 |
| ●バスドラム用フープ..... x1pr | ●シンバルスタンド..... x1 |
| ●バスドラム用テンションボルト&フック x16 | ●ドラムスローン..... x1 |
| ●タムタム(大・小)..... x2 | ●スティック..... x2pr |
| ●タムホルダー..... x2 | ●スティックバッグ..... x1 |
| ●フロアタム・シェル(胴)..... x1 | ●ハイハットシンバル(小)..... x1pr |
| ●フロアタムヘッド..... x1pr | ●クラッシュシンバル(中)..... x1 |
| ●フロアタム用フープ..... x1pr | ●ライドシンバル(大)..... x1 |
| ●フロアタム用テンションボルト..... x12 | ●チューニング・キー..... x1 |
| ●フロアタムレッグ..... x3 | |
| ●ハイハットスタンド..... x1 | |
| ●ドラムペダル..... x1 | |
| ●スネアドラム..... x1 | |

修理/メンテナンス用(組み立て時は不要)

- | |
|------------------------------|
| ○ラグナット&グリス.....各1 |
| ○バスドラム用テンションボルト(スペア)..... x1 |
| ○フロアタム用テンションボルト(スペア)..... x1 |



バスドラムの組み立て

バスドラムは、シェル(胴)本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. バスドラムのフロント側(バスドラムスパーのついている方)を上にしてシェルを床に置き、パール・ロゴのあるヘッドをかぶせ、バスドラムフープをのせます(図1)。
2. フックにテンションボルトを通し、バスドラムフープにフックを引っかけ、ラグのラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます(図1)。

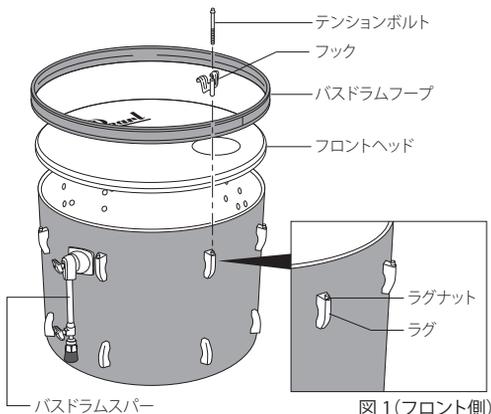


図1(フロント側)

3. 次にバスドラムの打面側を上にして、フロント側と同様、ヘッド、フープをシェルの上にかぶせ、テンションボルトをフックを通してラグのラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます(図2)。

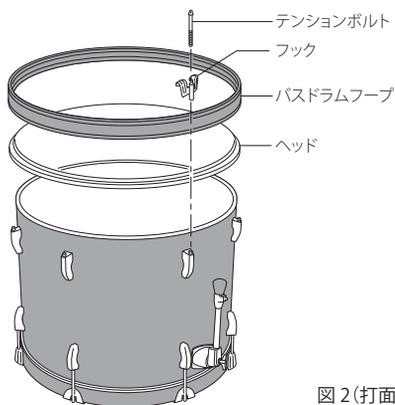


図2(打面側)

4. タムホルダーベースが上になるよう、バスドラムをおき、左右のバスドラムスパーを出します。左右のスパーが同じ長さになるようにし、必要に応じて剣先を出して下さい(図3)。



図3

注意

剣先を出した場合、床を傷つける場合がありますので、ご注意ください。

タムタムのセッティング

2つのタムタムを、タムホルダーでバスドラムのタムホルダーベースに取り付けます。タムホルダーには、回転・ズレ防止のためのリング・ストッパーがついているので、タムタムの位置関係や角度が決まったらロックをしましょう。また、リング・ストッパーを一度固定しておけば、次からのセッティングが大変スムーズになります(図4)。

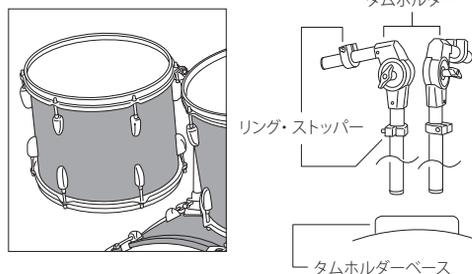
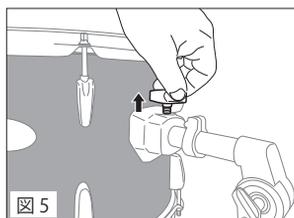


図4

ヒント

タムタムをタムホルダーに取り付ける際は、ウイングボルトを上を持ち上げながら差し込みます(図5)。



フロアタムの組み立て

フロアタムは、シェル(胴)本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. フロアタム本体についている 2本のテンションボルトとフープをはずします (図 6)。

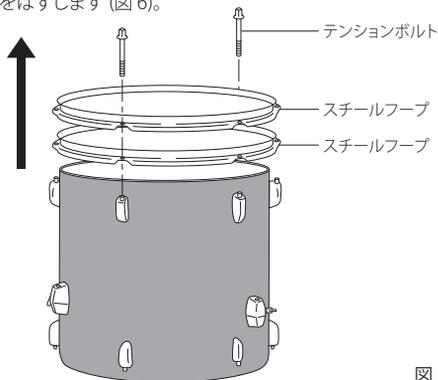


図 6

2. 打面側(フロアタムレッグブラケットがついていない方)を上にしてシェルを床に置き、ヘッドをかぶせ、スチールフープをのせませす (図 7)。

3. スチールフープにテンションボルトを通し、ラグにネジ込んでヘッドにテンションをかけます (図 7)。

4. 次にボトム側を上にして、打面側と同様、ヘッド、フープをかぶせ、テンションボルトをスチールフープを通してラグにネジ込んでヘッドにテンションをかけます。

5. フロアタムは付属のフロアタムレッグをレッグブラケットに差し込み、ウイングボルトで固定します (図 8)。

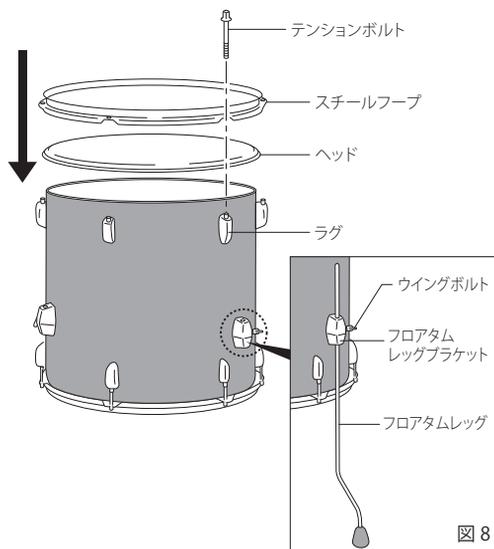


図 8

ハイハットスタンドのセッティング

フットボード&脚部のセッティング

脚部を適度に開き、フットボード下のラジャスロッドの先端(左右とも)をメインポストの接続部(穴)に差し込みます。メインポストが垂直に立っている事を確認したら、ウイングボルトを締めて、脚部を固定します (図 7)。

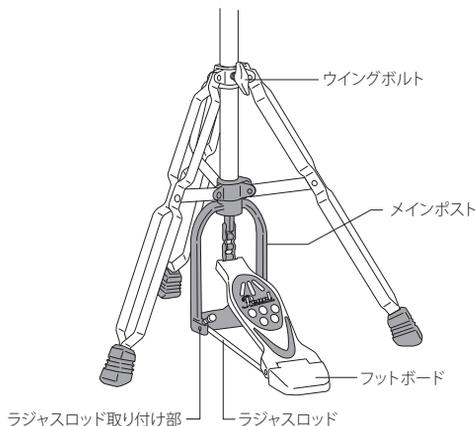
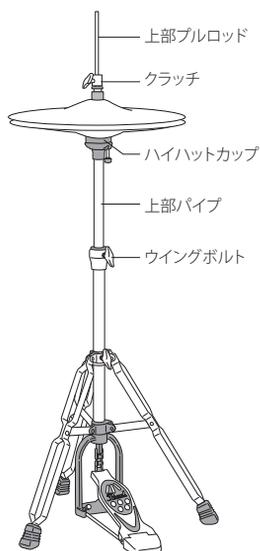
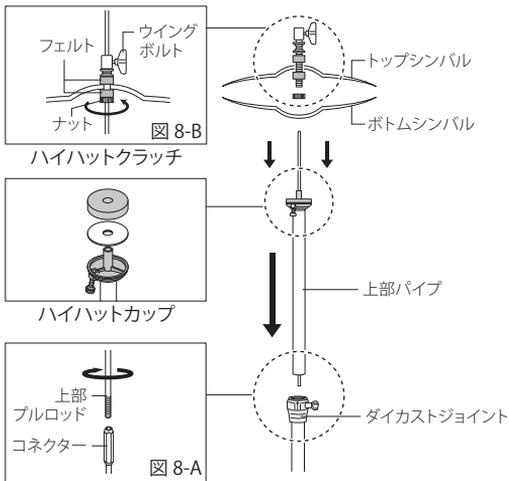


図 7

上部の組立て

脚部のダイカストジョイント内のプルロッド先端コネクターに、上部のプルロッドを差し込み、止まるまでネジ込みます (図 8-A)。上部パイプを上部プルロッドに通して上から差し込み、好みの高さに調整してダイカストジョイントのウイングボルトで固定します。2枚のハイハットシンバルの内、ボトム用シンバルをカップに乗せます。トップ用シンバルはハイハットクラッチの 2枚のフェルトの間にはさみ、ナットで下から固定し、プルロッドに上から差し込みます (図 8-B)。シンバルの間隔を調整するには、フットボードのペダルを踏み込み、上下のシンバルに適度な隙間ができる位置でハイハットクラッチのウイングボルトを締めてください。





ドラムペダルのセッティング

ピーターのシャフトをピーターホルダーの穴に差し込み、付属のチューニング・キーでキーボルトを締めて固定します(図9)。

バスドラムへの取り付けは、フットボードの下にあるフープクランプ部をバスドラム・フープにはさみ込み、ウイングボルトで固定します。バスドラムに取り付け後、ペダルを踏み込み、スプリングのテンションを好みに合うよう、上下のスプリング調整ナットで調節して下さい(図10)。

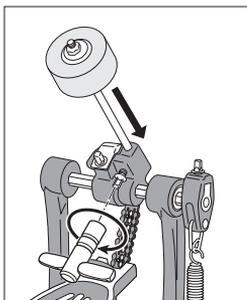


図 9

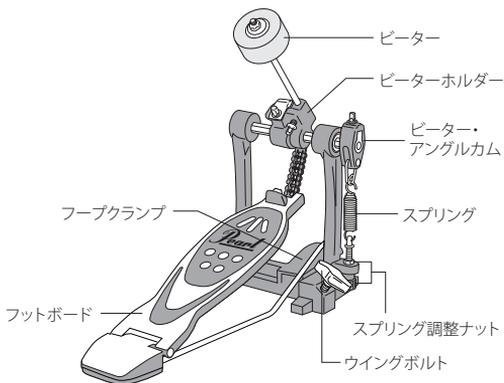


図 10

ヒント

スプリングのテンションを変えずにピーターの角度を無段階に調整することができます。付属のチューニング・キーを使ってキーボルトを緩め、好みの角度が決まりましたら、再び締めて固定して下さい(図11)。

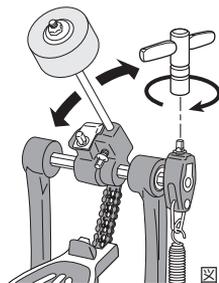


図 11

スネアドラムのセッティング

脚部を適度に開き、スネアスタンドのバスケット部(上部)を広げ、スネアドラムをのせてから調整ノブで固定します。その際、ストレイナー(スイッチ)は左手(左利きの場合は右手)で自由に操作できる位置にしておきます。叩きやすい高さ、角度になるよう、各部のボルト/ナットを使って調整し、位置が決まったら再び締めてしっかりと固定して下さい(図12)。



図 12

※各スタンドのセッティングポジションは"ドラムセット完成図"を参照して下さい。

チューニング

基本的なチューニング(音合わせ)方法を、スネアドラムを例にとり、ご紹介します。

まず、対角線上にあるテンションボルトをそれぞれ少しずつ締めながら、全体のピッチを上げていきます(図 13)。

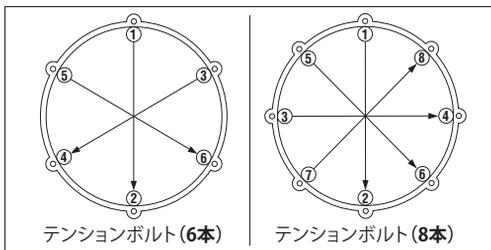


図 13

テンションボルトから 20-30mm離れたヘッドのチューニングポイントをスティックなどで軽く叩き、ピッチ(音程)を整えます。ピッチがバラついていたら、テンションボルトの締め具合を調節して整えます(図 14)。

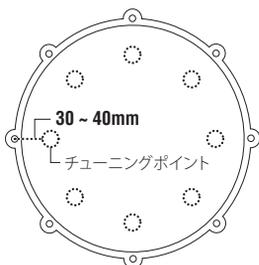


図 14

ヒント

- タムタムやバスドラムなどのチューニングも基本的には同じですが、一般的なロックサウンドをつくるには、裏側(ボトム)のヘッドのピッチを打面側(トップ)よりやや高めにしておくとういでしょう。
- バスドラムの場合、ミュート(ヘッドの振動を抑えること)をすると音が締まって叩きやすくなったり、フロントヘッドに穴をあけると音のヌケがよくなる場合があります。一般的なミュートとしては、毛布などをバスドラムの中に入れてたりする方法があります。また、レモ・マッフルリングコントロールと呼ばれるミュートも効果的で人気があります。
- 新しいヘッドはドラムのエッジによくなじませてからチューニングすることをおすすめします。

安全にお使いいただく為に

このたびは、パールドラムセットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。思わぬ事故やケガを防ぎ安全にご使用いただくため、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読み下さい。また本書は大切に保管して下さい。

ドラムセットは本体が重くかさばります。室内での置き場所や日常の取扱いについて、安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、学校もしくはご家庭で小さなお子さまがご使用になる場合は、指導者の方及びご家族の方から、お子様に適切な取り扱いを教えてあげて下さい。

表示記号について

本書では、本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に危害を及ぼすことや財産の損害を未然に防ぐための事項を下記の記号で表示しています。内容を良く理解してから組み立ての作業にお取りかかり下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い

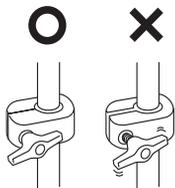
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- 外部要因によって生じた本器の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

設置上のご注意

警告

ネジ類はしっかりと締めてください。
練習中の転倒や落下を防ぐために、ネジ類はしっかりと締めてからご使用ください。
また、角度調整にギアを用いているモデルでは、ギアをしっかりと噛み合わせてから固定してください。噛み合っていない状態で無理に固定すると、トレーニング時の振動でシンバル等が脱落する事があります。



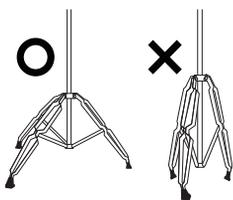
注意

床面を傷つけないようにご注意ください。

バスドラムレッグやスタンドに使用している脚ゴムは、長時間同じ場所に設置すると床面に色うつりすることがあります。床面やカーペット、畳などを汚して傷つけたりしないためにあらかじめ厚手のカーペットや専用のマットを敷いた上に設置される事をお薦めします。

転倒にご注意ください。

スタンド設置時には三脚を十分に開いてご使用ください。



取扱い上のご注意

警告

スティック類は練習演奏以外に使用しないでください。

スティックやワイヤーブラシはドラムを演奏するためのものです。人の頭や体を叩いたり投げたりといった危険な行為はしないでください。

スティックの折れた破片にご注意ください。

スティックは、木製品です。演奏中に折れて破片が飛び散る可能性がありますので、あらかじめご注意ください。

ドラムセットの周辺での「遊び」は危険です。

ドラムセットの周りで遊びますと顔や頭をぶつかけたり、つまずいて転んだりする恐れがあります。お子様がドラムセットの周りで遊ばないようにご注意ください。

地震の時はドラムセットに近づかないでください。

地震による強い揺れでドラムセットが移動したり転倒する恐れがあります。地震の際にはドラムセットに近づかないようにしてください。

注意

ネジ部の油にご注意ください。

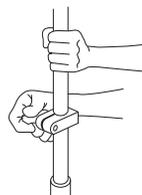
ドラム本体やスタンド類のネジには潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びや設置の際に衣服に付着する恐れがありますので十分ご注意ください。

金属部品のサビや劣化にご注意ください。

金属部品は使用しているうちにサビを生じたり、傷ついたりします。サビたり傷付いた部品を強くこすって手にケガをしないようご注意ください。また、ドラムペダルやハイハットスタンドのペダルは素足で踏まないようにしてください。

タムホルダー、スタンドの調整時は、必ず上部を支えながら行ってください。

タムタムやスタンド類の高さや角度を調整する際に急激にネジを緩めると、ドラムやシンバルの落下などで指を挟む恐れがあります。片手でタムタムや上部をしっかりと支えてからゆっくりとネジを緩めてください。



三脚部の折りたたみにご注意ください。

スタンド類の三脚を収納する際は、スタンドを持っている指をはさむ恐れがありますので十分注意して下さい。

保管上のご注意

お願い

金属部品は時々乾拭きしてください。

サビを防止するために、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々乾拭きしてください。

高温・多湿となる場所は避けてください。

車の中や直射日光のあたる場所に長時間本製品を保管したりしないよう、保管場所には十分注意してください。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111（代表）

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090（テクニカルサポート）

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China

©2007-